

中学生が言うことを聞かないのは当たり前？！

～原因と対処法を知り自立を見守りましょう～【3／3編】

保護者の言うことを聞かない中学生への対処法

お子さまが大人になろうとしている時期に、保護者がいつまでも子供扱いをしていると、「自分の気持ちを理解してもらえない」とますます言うことを聞かなくなってしまう可能性があります。自我が強まり反抗的な態度が増えたと感じたら、「〇〇しなさい」というような指示は控え、大人に接する時のように自主性を尊重してあげましょう。

もしお子さまが誤った判断をしている場合でも、まずは話をじっくり聞いてその考えを受け入れ、その上で保護者側の意見も伝えられるとよいと思います。

とはいえ、悪いことをした場合など、必要と判断した時には厳しく叱ることも大切です。

「大人になるためには、自分の行動に責任を持つことも必要だ」ということを、きちんと伝えていくことも親の役目だと思います。

- ・子供扱いせず自主性を尊重する
- ・どんな時でもじっくりと話を聞く
- ・必要な時にはきちんと叱る

干渉し過ぎずそっと見守る

中学生の頃のお子さまは、子供扱いされることを嫌がるものの、まだ判断が幼い部分も見え隠れするので、保護者としては何かと心配になるものです。しかしできるだけ干渉し過ぎず、本人の判断に任せてみるとよいでしょう。

もちろんお子さまのほうから「話を聞いてほしい」と言ってきた場合や、甘えたい素振りが見られた時には、話を聞いてアドバイスをしたり甘えさせてあげたりしてください。

大人と子供が入り混じった状態の時期なので、お子さま自身も戸惑いを感じているはずです。とはいえ、反抗的な態度が続いて疲れてしまう保護者も数多くいます。ストレスを溜め込まないよう、適度にリフレッシュしながらお子さまの自立を見守っていただければと思います。